

平成30年4月10日

海事局検査測度課

国際海上輸出コンテナの重量確定に関する実態調査を初めて実施

～国際海上コンテナの安定的な輸送確保に関する第2回検討会を開催します～

海事局では、コンテナ物流関係者からの協力を得て、コンテナ重量の計測の実態やコンテナ重量情報の伝達に関する初めてのアンケート調査を実施し、860を超える社から回答が得られましたので、その分析結果や今後の方向性について議論を行います。

海事局では、「コンテナ総重量精度の維持・向上策」や「国際的に通用する標準的な電子的情報の利活用方策」などの課題への対応策について具体的な検討を進めるため、学識者・関係団体等から構成される「国際海上輸出コンテナの安定的な輸送に必要な重量確定・情報伝達等のあり方に係る検討会」を昨年10月に設置し、これらの課題に関する検討を本格化しました。

検討を本格化するに当たって、2016年7月より制度化された、国際海上輸出コンテナの総重量の確定方法の実態を調査するため、コンテナ重量の計測の実態やコンテナ重量情報の伝達に関して、届出荷送人・登録確定事業者、港湾ターミナル、コンテナ船社といったコンテナ物流関係者からの協力を得て、初めてのアンケート調査を実施し、860を超える社から回答が得られました。

第2回検討会では、アンケート調査の分析結果を基に取りまとめに向けた方向性について議論を行います。



コンテナ荷崩れの事例

記

1. 日時 : 平成30年4月17日(火) 15:00～17:30
2. 場所 : 経済産業省別館2階238各省庁共用会議室
3. 議事 : (1) 前回の議事録の確認
(2) 国際海上輸出コンテナ総重量確定制度に関するアンケート調査の結果分析
(3) 取りまとめに向けた方向性
4. 取材等 : 検討会は非公開で行います。ただし、カメラ撮りは冒頭のみ可能です。希望される方は、4月16日(月)12時までに件名を「コンテナ検討会取材希望」とし、氏名(ふりがな)、所属、電話番号を明記したメールを hgt-solas_container@ml.mlit.go.jp までお送りください。

【お問い合わせ先】

海事局検査測度課危険物輸送対策室 升井・川崎

連絡先 : 03-5253-8111(内線 44-177・44-179)

直通 : 03-5253-8639 FAX : 03-5253-1644

「国際海上輸出コンテナの安定的な輸送に必要な重量確定・情報伝達等の
あり方に係る検討会」構成員名簿

(敬称略、順不同)

氏名	所属・職名等
岡 泰資	国立大学法人横浜国立大学 大学院 環境情報研究院 准教授 (座長)
渡部 大輔	国立大学法人東京海洋大学 学術研究院 流通情報工学部門 准教授 (副座長)
黒川 毅	日本機械輸出組合 国際貿易円滑化委員会 委員長 (富士通株式会社マーケティングコミュニケーション本部コミュニケーション企画統括部 専任部長(グローバル渉外担当))
三上 佳男	(一社) 日本自動車工業会 国際委員会 海外物流部会 副部会長 (日産自動車株式会社 SCM 本部グローバル部品物流部長)
豊福 哲	(一社) 日本貿易会 物流委員会ワーキンググループ 副座長 (三井物産株式会社 コーポレート物流部 部長補佐)
小峰 茂昭	(一社) 国際フレイトフォワードーズ協会 JIFFAフォワーディング委員会副委員長 JIFFA SOLAS合同委員会副委員長(兼務) (タカセ株式会社 国際営業部 AIBA認定貿易アドバイザー)
富田 章裕	(一社) 日本港運協会 (三井倉庫株式会社 港運統括部長)
関野 治夫	日本海運貨物取扱業会 理事 業務委員会 業務副委員長 (関野運輸株式会社 専務取締役)
飯田 洋司	(一社) 日本船主協会 (NYK Container Line株式会社 統括本部 運航海技部 部長)
鈴鹿 文彦	外国船舶協会 EDI部会担当 (ハパック ロイド ジャパン 株式会社 カスタマーサービス部長)

※所属は3月末時点のもの